

自己評価結果公表シート

認定こども園 小樽オリーブ幼稚園

1. 園の教育目標

2019年度

本園はキリスト教の信仰に立って、神を畏れ、隣人を愛して、思いやりのある子ども、健康な子ども、自主性のある子どもを育てることを目標とする。

園児一人ひとりに対して、神と人々に愛されるものとして、成長し、心豊かな人間性を持つよう育成することを目指す。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園教育要領の精神を踏まえ、当園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	教育課程を踏まえ園長以下教諭が自覚的に取り組りくんでいる。非常勤教諭を含め、当園の教育知念や方針の理解に努め、教育課程の編成にあたっている。
教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	毎年立てる指導計画に従って、子どもの実態に即した内容を組み立てるように努めている。少人数になっていることから、限られた子どもたちの関わりを広げられるよう計画を作成している。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教諭は日々の記録を参考にして子どもの実態を把握し、月案、週案の作成に反映し、改善するようにしている。
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスの月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を把握し、振り返りつつ、善かったところ、改善すべきところに気付くようにし、取り組みが良かったところは更に伸ばし、改善の必要のあるところについてはより適切に変更するよう努力している。
子どものよさを認めて評価しようとしている。	一人ひとりの子どもの様子を把握し、教諭が客観的に子どもを見て、それ以後の保育の仕方を工夫しつつ、支援を必要としている子には対応するようにしている。
遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	子どもたちが自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を整え、友だちと遊べていない子に対しても、あそべるよう関わりを工夫して子どもたちの遊びに広がりを持たせるように工夫している。

規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	一日の保育の流れの中で、身に付けている方が本人にとって有用と思われる生活習慣を自ら身に付けられるよう促すなどしている。生活習慣が身につけていない子に対しては無理にさせるのではなく、自分からやってみたいと思えるように工夫している。
全職員が一丸となって、全園児の保育を行うよう連携する。	保育者の人数が減少したことで、行事などの取り組みを変更するなどあったが、非常勤の教諭も含めて互いに連携し、お互いの保育を理解共有することによって、よりよい保育環境を形成し合うように工夫している。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	外部の各種研修会や研究会に参加し学んだことを現場で実現できるよう取り組んでいるが、人数が減少したことで、園内研修などが出来なかった。
園だよりや合同研修会を通して、幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取組みを園だよりに記載すると共にし、保護者にも情報が伝わることを目指して取り組んでいる。もう少し全体に対して取り組みの理解を深めてもらえるよう、発信していく。
保護者との係りを密にし、幼稚園で行われていることが保護者に伝わるようにしていく。	参観日、行事などの取組みを通して保護者と接する機会を作っている。保護者との個人面談を通して子どもの様子を伝えている。日頃の取組みを送りのバスの乗り降りの際など伝えるようにしている。園だより以外にも、ブログなどを通して様子を知らせている。
園の運営状況や規則などを把握できるように園内で公開する。	園の財政状況や運営状況について、資金収支報告などとおして、また、職員の話し合いのなかでも、把握してもらうように図っている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>教諭それぞれで気が付かされている課題について話し合いを重ね、取り組みを共通のものとして理解し、問題があるところは話し合いをもって工夫をし、課題を次のステップに生かすようにしようとしている。教諭不足が続いているが、ある程度満たされているので、非常勤の教諭募集を継続しているものの、必要な体制が整いつつある。足りない点があれば相互に話し合いをして改善している。</p> <p>施設面では環境整備をこころがけており、子ども達が安心、安全に遊べる環境になるように運転手並びに用務員も含めて努力しており、概ね良い環境を整えている。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
情報公開の方法	現在、園だよりや参観日などを通して保護者への理解促進に取り組んでおり、日常の保護者との接触が出来る機会には積極的に伝えている。HPは新たにし、ブログは毎日更新しており、保護者が関心をもって見ている。

自己点検、自己評価	各自日頃から教諭不足の中で互いに自己についての認識を新たにしてはいるが、情報交換、話し合いの時間を確保することに苦慮している。
指導計画の編成	園の方針に基づいて環境や子どもの成長に係る内容の充実を図り、それに取り組んでいるので、更に取り組みを充実させたい。

6、学校関係者評価委員会の意見

別紙、委員会報告書に記されている。